

## 有料版 WOLF、WOLF-V ver2.0.9 リリースノート

このリリースノートは、有料版 WOLF ver2.0.9 および、WOLF-V ver2.0.9 導入についての注意事項(インストール手順)および、前バージョンの WOLF から強化された内容(新機能、その他の変更点等)を記載しています。

WOLF、WOLF-V をご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。

また、これらの内容はユーザのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください(最新情報は <http://www.medical-domain.com/products/r-note.php> でご確認ください)。

### 1. 導入についての注意事項

#### 1-1. 対応 OS について

有料版 WOLF ver2.0.9 は Windows Vista、Windows 7 には対応しておりません。

また、有料版 WOLF 2.0 パッケージに添付された CD のインストーラは Windows Vista、Windows 7 に対応しておりませんので、インストールしないでください(WOLF-V のインストーラが必要です)。

Windows Vista、Windows 7 環境で WOLF をご利用の場合は WOLF-V のご購入が別途必要です。

WOLF-V は Windows Vista、Windows 7 共に 32bit、64bit の両方に対応しております。

WOLF-V の CD からインストール後、最新版パッチ(WOLF-V ver2.0.9 以降)を適用してください。

WOLF-V 同梱の環境チェッカは Window 7 に対応しておりませんが、インストールは問題ありません。

**WOLF の画像機能、サーバ機能による複数台環境での利用には WOLF-V は対応しておりませんのでご注意ください。**

#### 1-2. 日医標準レセプトソフト(以下、日レセ)ver 4.5.0(etch、hardy)対応について

日レセ ver4.5.0 と WOLF を連携して使用する場合は WOLF ver2.0.7 以上が必須となります。

Ubuntu 版日レセ ver4.5.0(hardy)にも対応しております。

ver 4.5.0 との連携方法は WOLF の通信設定タブから日レセバージョン「4.4」を選択してください。

補助機能

各種マシ設定 データ保守 その他設定 ボタン設定 **通信設定** 各種検査設定 一括処理

日レセ接続を有効にする(WOLF起動時に日レセとの接続チェックをおこなう)

日レセバージョン **4.4** 日レセ医療機関ID (JPNXXX)

日レセ接続 ODBC設定

データソース名 ORCA ポート番号 5432

データベース名 orca ユーザー名 orca

サーバーIPアドレス 192.168.XX.XX パスワード \*\*\*\*

CLAIMIによる患者情報取り込みをおこなう

CLAIM受信ポート番号

受付 5001 会計 5002 受信コード EUC

チェックの付いたサマリへ診療行為を 転記しない

日レセからの患者受付を多重に 受けたくない

日レセ患者登録時にWOLF受付登録を おこなう

設定変更

その他設定

日レセ以外のシステムとのCLAIM通信などの設定をおこないます。 その他設定

ODBCIによる患者データ更新

ODBCIによる接続で日レセから患者データを取得します。  
\*データ更新中はCLAIMの取得をおこないません

データ更新(全患者)

### 1-3. インストール時の注意

WOLF ver2.0.9 アップデートインストーラは WOLF ver2.0.0~2.0.8.3(体験版、評価版含む)が導入済みの環境でしかご利用になれません。

WOLF ver2.0.9 は過去全ての内容を含んでおりますので、過去のバージョンを適用する必要はありません。

WOLF-V をご利用の場合は WOLF-V ver2.0.9 のアップデートを入手してください。

#### 有料版 WOLF ver2.0.0~2.0.8.4 をお使いの方

有料版 WOLF2.0.0~2.0.8.3(体験版、評価版含む)が導入済みであれば、「1-2.インストール方法」を参照し WOLF ver2.0.9 のアップデートを実施してください。

#### WOLF-V ver2.0.4.1~2.0.8.4 をお使いの方

Windows Vista、Windows 7 環境用の WOLF-V 2.0.4.1~2.0.8.3 が導入済みであれば、WOLF-V2.0.9 のアップデートインストーラをご利用ください。

Window 7 に WOLF-V をインストールされた場合は、必ず 2.0.9 にアップデートをしてください。

#### 株式会社エスアールエル Doctor's Desk Light (DDL) および、無料版 WOLF ver1.X をお使いの方 まず始めに有料版 WOLF ver2.0.0 を導入する必要があります。

WOLF ver2.0.0 インストールガイドおよびリリースノートを参照し、WOLF ver2.0.0 インストールディスクからのインストール、およびデータ移行を実施してください。

### 1-4. AEXUS Lib を使用される際の注意

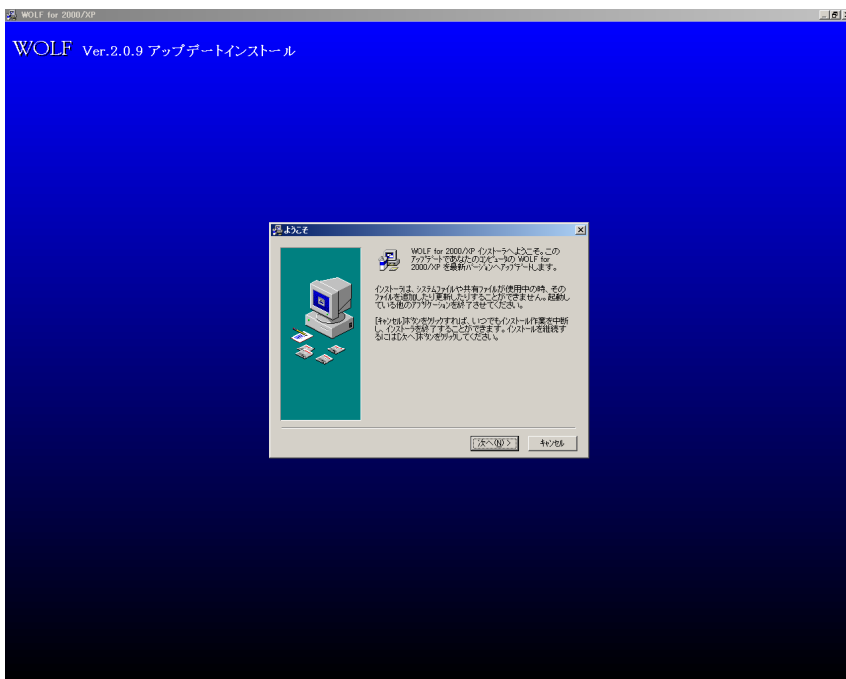
AEXUS Lib は WOLF2.0 用の AEXUS 帳票作成機能追加ソフトです。

インストーラおよびマニュアルはメディカルドメインの Web サイトから入手をお願いいたします。詳細は AEXUS Lib のマニュアルを参照ください。

**AEXUS Lib は有料版 WOLF2.0 または WOLF-V ver2.0.9 のインストールされた環境で利用できます。帳票テンプレートの作成環境として別売りソフトの AEXUS が必要です。**

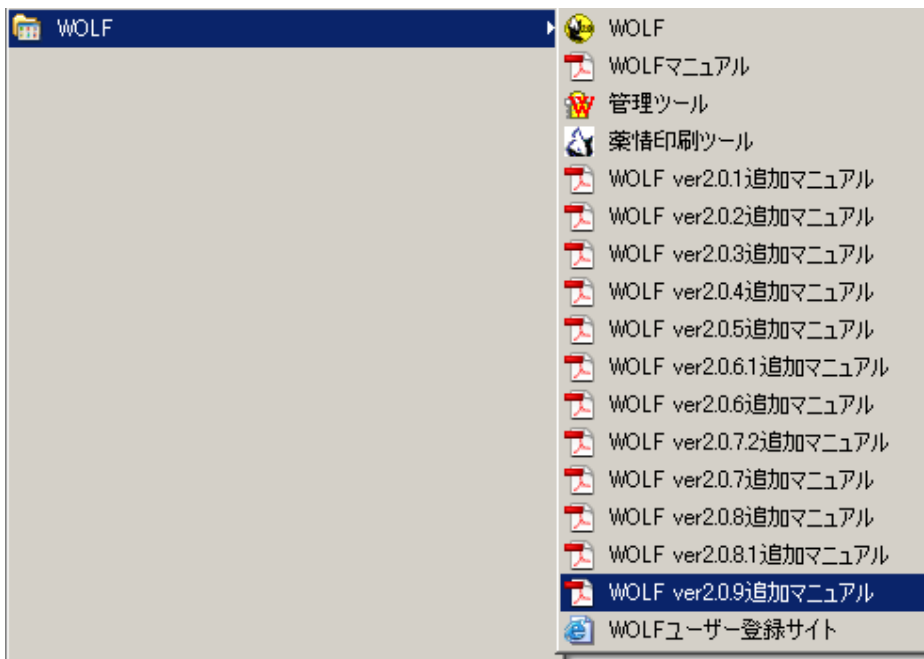
## 1-4. インストール方法

メディカルドメインの Web サイトから WOLF ver2.0.9 もしくは WOLF-V ver2.0.9 アップデートパッチをダウンロードし、解凍後 SetupXP\_Update.exe(WOLF-V の場合は SetupV\_Update.exe)を実行してください。実行するとアップデートインストール画面が表示されます。



## 2. WOLF ver2.0.9 で変更された主な内容

追加された機能の操作方法については WOLF ver2.0.9 追加マニュアルを参照ください。



**WOLF ver2.0.9 追加マニュアルは WOLF ver2.0.9 インストール後の Windows プログラムメニューに追加されます。**

## 2-1. 日レセ「メモ2」のCLAIM受信対応

日レセでメモ2を登録しCLAIM送信された場合にWOLFのサマリへ転記をおこないます。

メモの受信には日レセのCLAIM送信設定とWOLFのCLAIM受信設定が必要です。

まず、日レセとWOLFのODBC連携とCLAIM連携設定をおこない、受付と診療行為がCLAIM受信できるようにしてください。

次にWOLF「補助機能」の「通信設定」タブ内のチェックの付いたサマリへ診療行為を「転記する」に設定してください。

補助機能

各種マシ設定 データ保守 その他設定 ボタン設定 通信設定 各種検査設定 一括処理

日レセ接続を有効にする(WOLF起動時に日レセとの接続チェックをおこなう)

日レセバージョン 4.4 日レセ医療機関ID (JPNXXX)

日レセ接続 ODBC設定

データソース名 ORCA ポート番号 5482

データベース名 orca ユーザー名 orca

サーバーIPアドレス 192.168.0.97 パスワード \*\*\*\*

CLAIMによる患者情報取り込みをおこなう

CLAIM受信ポート番号

受付 5001 会計 5002 受信用コード EUC

チェックの付いたサマリへ診療行為を 転記する

日レセからの患者受付を多重に 受け付ける

日レセ患者登録時にWOLF受付登録を おこなう

設定変更

その他設定

日レセ以外のシステムとのCLAIM通信などの設定をおこないます。 その他設定

ODBCによる患者データ更新

ODBCによる接続で日レセから患者データを取得します。  
※データ更新中はCLAIMの取得をおこないません

データ更新(全患者)

日レセのメモ2を登録し、登録時の確認ダイアログで「F10 送信」またはメモ2登録後に「送信」ボタンを押すことでメモ2の内容がCLAIMで送信されます。

日レセでのメモ2登録、送信の方法は日レセのマニュアルを参照してください。

WOLFで受信したメモ2はチェックのついたサマリに自動で転記されます。

サマリ欄左端のチェックボックスにチェックを付けてください。

メモ2の内容の上下にメモの開始と終了、受信した日時(WOLF PCのシステム時間)が付加されます。

患者情報

00031 てすと かんじゃ

テスト 患者

昭和52年1月1日生 33歳 男

診察券

保険者番号 保険名称 記号 番号

データ更新

紹介状取込

No 主 病名 疑 診療開始日 転帰 ※

サマリ

病名編集

編集

問題編集

文書管理

紹介状

作成日 内容

編集

削除

新規作成

参照作成

プレビュー

診療日 投薬 注射 検査 画像 処置 手術 その他

サマリ 処置行為 薬歴 検査結果 画像 バイタル プレビュー

-----メモ 開始-----  
【2010/04/23(金) 17:41】  
メモテスト1  
メモテスト2  
メモテスト3  
-----メモ 終了-----

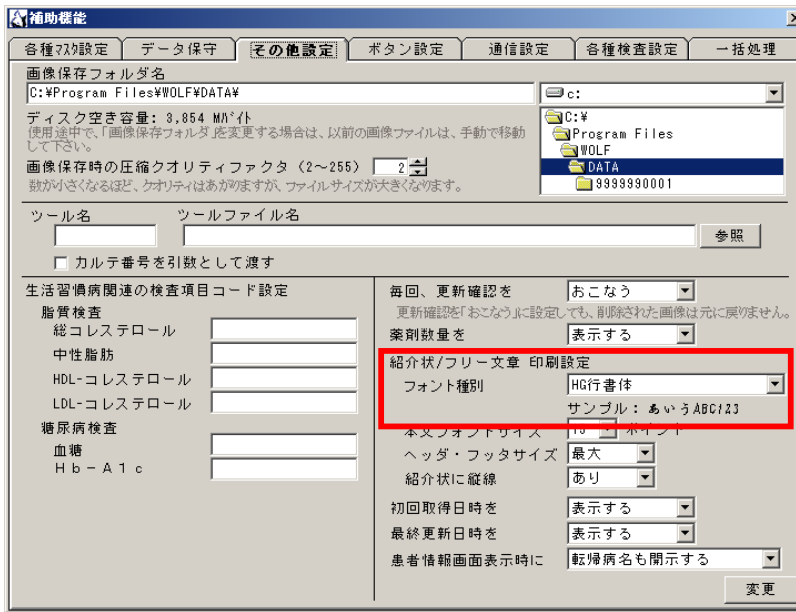
1 デフォルトサマリ 10/04/23

## 2-2. 紹介状、フリー文章のフォント種別変更設定

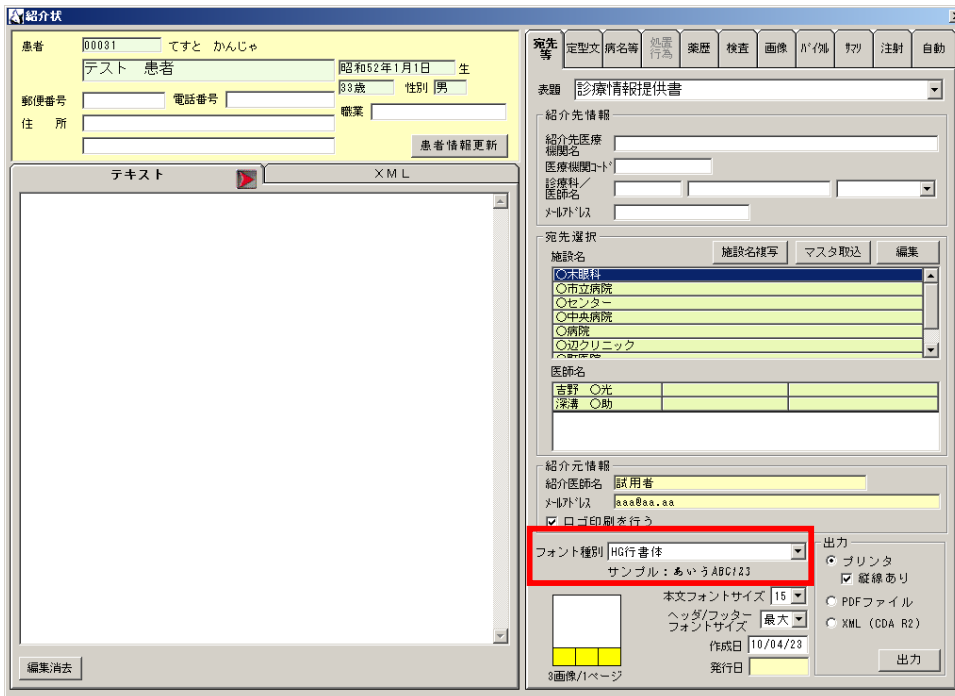
紹介状とフリー文章のフォント種別を設定可能にしました。

また、ヘッダ/フッタと本文のフォント種別を統一しました。

「補助機能」の「その他設定」タブ内の紹介状/フリー文章 印刷設定のフォント種別から任意のフォントを選択してください。



紹介状の宛先等タブからもフォント種別を変更可能です。

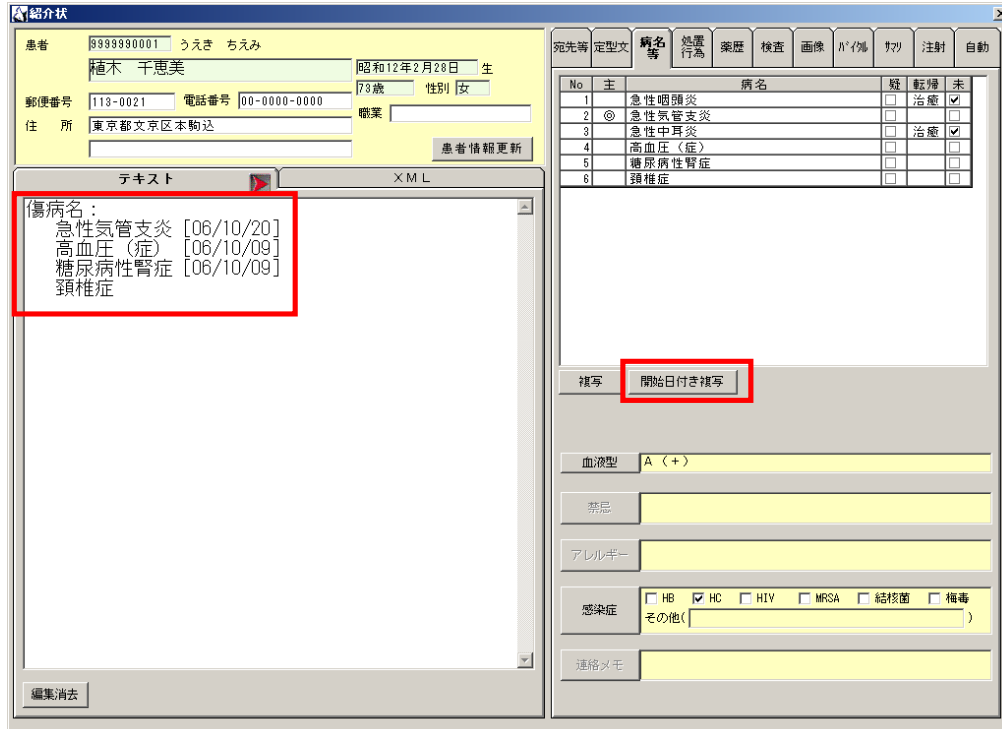


### 2-3. 診察券 漢字氏名欄の半角カナ表示対応

氏名に ANK(アルファベット、数字、カタカナ)が混ざるとき、ANK を半角で印字します。  
 氏名がカタカナのみで構成されかつ、氏名とふりがなが一致するときはふりがなは印字されません。  
 また全角半角に関わらず、18 バイト(全角 9 文字、半角 18 文字)まで漢字氏名欄の印字が可能になりました。(従来は 9 文字の印字)  
 ただし 18 バイト目に半角表示できない文字が来た場合、17 バイトまでの印字となります。

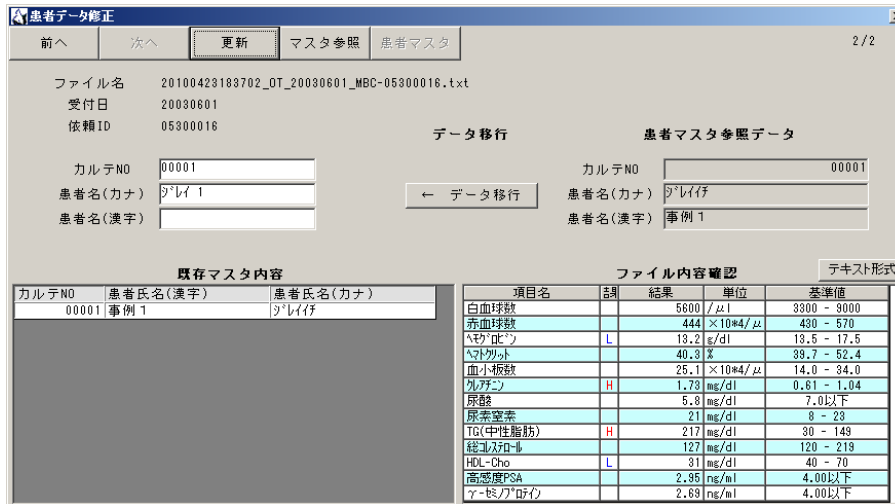
### 2-4. 紹介状 病名複写時に開始日付き複写を追加

開始日付き複写ボタンで複写することで 開始日が付加されます。



### 2-5. カルテ番号ゼロ処理時の検査エラー修正画面で患者候補にゼロ処理後の番号が表示されない仕様の修正

補助機能の検査データゼロ処理が設定されている場合、検査取込のエラー修正画面でゼロ処理後の番号を候補に表示するように仕様を修正しました。



2-6. 検査時系列印刷で縦型 5 日分、横型 7 日分の検査結果報告書が印刷されるように仕様を修正  
縦型を 3 日分から 5 日分へ、横型を 5 日分から 7 日分印刷可能な仕様に修正しました。

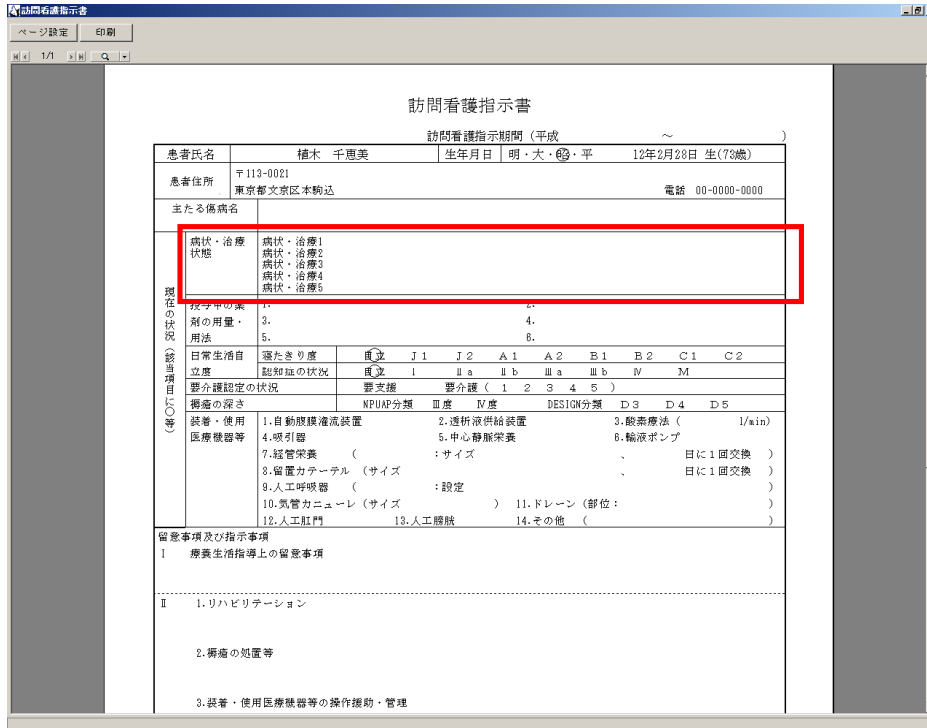
縦型印刷イメージ

検査項目	2008/04/27	2008/05/01	2008/05/09	2008/05/19	2008/06/03	基準値 [単位]
<b>血球計算</b>						
白血球数(WBC)						N 3900-9800 F 3500-9100[ $\mu$ l]
赤血球数(RBC)						N 427-570 F 376-600[ $\times 10000/\mu$ l]
血色素量(Hb)						N 13.5-17.8 F 11.3-15.2[g/dl]
ヘマトクリット値(Ht)						N 39.9-51.8 F 33.4-44.9[%]
血小板数(PLT)						N 13.1-38.2 F 13.0-38.9[ $\times 10000/\mu$ l]
<b>血算</b>						
WBC		7.2				3.5- 9.0 [/ $\text{mm}^3$ ]
RBC		4.90				3.50-5.00 [/ $\text{mm}^3$ ]
Hb		14.8				11- 15 [g/dl]
Ht		43.5				34- 48 [%]
MCV		88				83- 101 [ $\mu$ m <sup>3</sup> ]
MCH		30.1				27- 34 [ $\mu$ g]
MCHC		34.0				31.5-38.0 [%]
血小板数		15.3				13- 35 [/ $\text{mm}^3$ ]
UA		H 8.9				2.5- 8.0 [mg/dl]
GOT		H 44				5- 38 [IU]
GPT		22				4- 43 [IU]
ALP		328				103- 395 [IU/l]
LDH		188				112- 220 [U]
$\gamma$ -GTP		H 88				8- 48 [IU/l]
T-BIL		0.3				0.2- 1.0 [mg/dl]
ZTT		H 17.1				4- 12 [U/l]
CHE		304				185- 430 [IU/l]
T-CHO		L 122				130- 220 [mg/dl]

横型印刷イメージ

検査項目	2005/12/07	2005/12/14	2005/12/18	2006/01/15	2006/01/19	2006/01/25	2006/02/02	単位	基準値
U-P				H 8.1	7.5			10/1/37°C	11-53
TP								g/dl	8.0- 8.0
ALB				4.2	3.9			g/dl	3.8- 5.1
BUN				18.5	18.8			mg/dl	10- 20
CRE				0.8	0.9			mg/dl	0.5- 1.3
UA				H 7.3	5.4			mg/dl	2.5- 8.0
T-BIL				0.4	0.5	0.5		mg/dl	0.2- 1.0
GOT				H 45	H 43	37		IU	5- 38
GPT				32	33	29		IU	4- 43
ALP				220	251	249		IU/l	103- 395
LDH				158	176	197		U	112- 220
$\gamma$ -GTP				H 83	H 88	H 78		IU/l	8- 48
CHE					310	325		IU/l	185- 430
ZTT				H 14.3	H 13.9	H 15.3		U/l	4- 12
CPK					95			IU	25- 139
血糖				87	74	96		mg/dl	80- 110
血清AMY					75	78		IU	54- 190
尿中AMY						179		IU/l	100- 900
T-CHO					149	164		mg/dl	130- 220
TG					101	143		mg/dl	40- 162
HbA1c					5.1	4.9		%	4.3- 5.8
CRP定量				H 0.8		0.3		mg/dl	0- 0.5
<b>血算</b>									
WBC				8.0	8.2	8.7		/mm <sup>3</sup>	3.5- 9.0
RBC				4.86	H 5.16	4.86		/mm <sup>3</sup>	3.50-5.00

**2-7. 訪問看護指示書 「病状・治療状態」欄の印刷行数拡張**  
 3行までの印刷を、5行まで印刷可能な仕様に修正しました。



**2-8. 訪問看護指示書参照作成時 指示期間開始日 自動入力**

訪問看護指示書 参照作成時の指示開始日を参照文書の指示終了日の翌日に自動で入力されるように仕様を修正しました。

指示終了日はこれまでと同様に入力が必要です。

**2-9. 紹介状 XML 作成画面の表示行を調整**

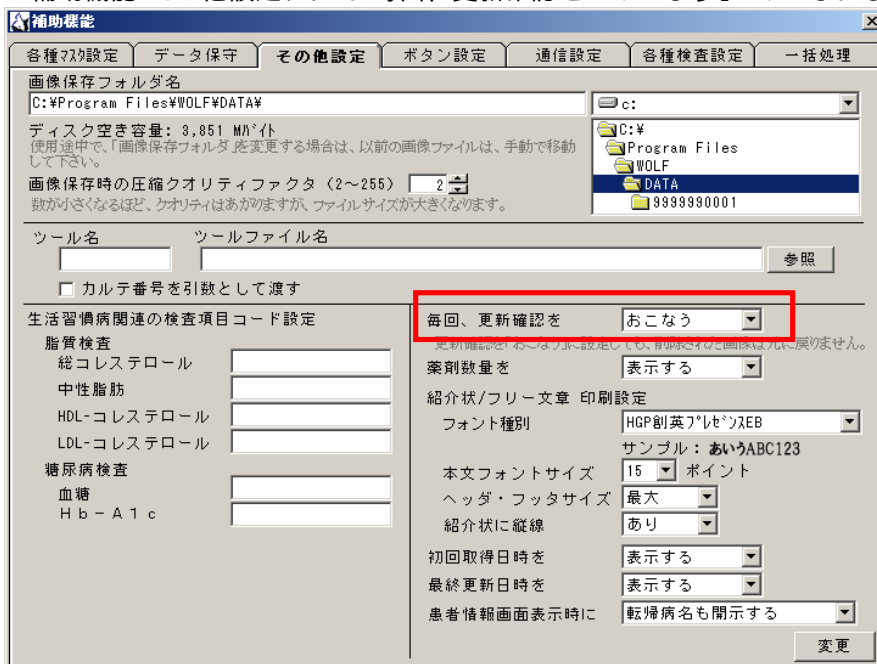
紹介状 XML 作成画面の各項目の入力欄の縦幅をそれぞれ修正しました。

- ・ 既往歴 2行 3行
- ・ 症状経過 8行 9行
- ・ 診断内容 6行 4行

## 2-10. 文書管理 帳票自動保存設定の追加

WOLF での文書作成時に × ボタンを押した時の動作について、保存時の確認をおこなうか、無条件で保存するか選択可能に仕様を修正しました。

補助機能-その他設定タブで 毎回、更新確認を「おこなう」「おこなわない」を設定してください。



おこなう：保存をおこなうか「はい」「いいえ」の確認メッセージを表示する。

おこなわない：確認メッセージを表示せずに保存する。

## 2-11. 紹介状 XML タブ選択時の自動遷移仕様の修正

紹介状 XML タブ選択時に右側参照画面が自動タブに遷移しないように仕様を修正しました。

また、紹介状作成時のテキスト、XML のタブ位置を前回の閉じた位置の状態に表示するように仕様を修正しました。

## 2-12. 検査項目 検査別名設定

検査項目に別名を設定可能とします。

検査結果表示時に正式の検査名ではなく設定した別名で表示可能となります。

正式名と別名表示は画面上で選択可能です。

各検査項目に対して表示用の別名を設定し、補助機能-各種検査設定タブから「検査項目に別名を設定」チェックをつけて別名表示を有効にします。

補助機能

各種検査設定

検査項目表示順

- 分野コードソート条件でソート (SRLグループ検査情報のみ対象)
- 表示順を手動で設定 表示順設定

検査受信・取込設定

- 検査結果の自動取込をおこなう
- 自動取り込み中はエラー修正のポップアップを表示しない
- 取得間隔指定 (5~180分) 取得時間設定
- 時間指定
- DDNet, SiteFDPデータをフォルダ(WOLF#Download#Backup)にバックアップ 保存期間 (1~100日) 30日

検査結果画面 表示設定

- 検査結果を太字で表示
- 検査項目に別名を設定 別名設定
- 背景色と文字色を初期状態に戻す

H/L結果 表示設定

上限値超過時(H)の背景色と文字色を設定します 背景色 文字色 → サンプル

下限値超過時(L)の背景色と文字色を設定します 背景色 文字色 → サンプル

H/Lの範囲を2段階に設定 範囲設定

2段階目の上限値超過時(H)の背景色と文字色を設定します 背景色 文字色 → サンプル

2段階目の下限値超過時(L)の背景色と文字色を設定します 背景色 文字色 → サンプル

検査報告書 印刷標準設定

- 検査報告書上下の帯を印刷しない
- 検査報告書 時系列印刷を縦方向で印刷

設定変更

別名設定ボタンで検査項目 別名設定画面を表示し、各検査に対して別名を設定してください。

別名を設定後、登録ボタンで保存し、各種検査設定タブの設定変更ボタンを押してください。

検査項目 別名設定

検査項目コード	検査項目名称	表示用別名
000000101	GOT	
000000102	GPT	
000000103	ALP	
000000104	LDH	
000000105	γ-GTP	
000000106	T-BIL	
000000107	ZTT	
000000108	CHE	
000000109	T-CHO	
000000110	TP	
000000114	TG	
000000117	CPK	
000000122	UA	
000000127	血糖	
000000128	血清AMY	
000000129	BUN	
000000130	CRE	
000000144	ALB	
000000200	血算	
000000201	WBC	設定1
000000202	RBC	設定2
000000203	Hb	
000000204	Ht	
000000205	MCV	
000000206	MCH	

検査項目に表示用の別名を設定します。  
報告書印刷時も別名で印刷します。

登録 キャンセル

単回表示、時系列表示と患者情報画面の検査結果タブで設定した検査が別名表示されます。  
 報告書印刷も別名表示の場合は別名で印刷されます。  
 サマリ、紹介状作成等から検査結果を参照した場合は標準名称で表示されますのでご注意ください。  
 各画面の表示設定から「設定名称」で別名表示、「標準名称」で標準名表示の切り替えが可能です。  
 ここでの表示設定の切り替え状態は保存されません、再度検査結果画面を表示した場合の初期表示は別名で表示されます。  
 初期表示を変更したい場合は補助機能-各種検査設定タブから「検査項目に別名を設定」を変更してください。

設定名称(別名)

検査項目	結果値	単位	基準値	報告コメント1	報告コメント2	結果入力日
<input type="checkbox"/> CRP定量	0.5	mg/dl	0- 0.5			2006/02/13
<input type="checkbox"/> 血算			*****			2006/02/13
<input type="checkbox"/> 設定1	8.8	/mm3	3.5- 9.0			2006/02/13
<input type="checkbox"/> 設定2	5.17	/mm3	3.60-5.00			2006/02/13
<input type="checkbox"/> H b	14.7	g/dl	11- 15			2006/02/13
<input type="checkbox"/> H t	45.5	%	34- 46			2006/02/13
<input type="checkbox"/> M C V	88	μm3	83- 101			2006/02/13
<input type="checkbox"/> M C H	28.4	μm3	27- 34			2006/02/13
<input type="checkbox"/> M C H C	32.3	%	31.5-36.0			2006/02/13
<input type="checkbox"/> 血小板数	19.1	/mm3	13- 35			2006/02/13
<input type="checkbox"/> 白血球分類			*****			2006/02/13
<input type="checkbox"/> B a s	0.5	%	0- 2			2006/02/13
<input type="checkbox"/> E o s	10.2	%	1- 7			2006/02/13
<input type="checkbox"/> N E U T	50.3	%	53- 65			2006/02/13
<input type="checkbox"/> L y m	33.8	%	25- 45			2006/02/13
<input type="checkbox"/> M o n	5.2	%	2- 8			2006/02/13

標準名称

検査項目	結果値	単位	基準値	報告コメント1	報告コメント2	結果入力日
<input type="checkbox"/> CRP定量	0.5	mg/dl	0- 0.5			2006/02/13
<input type="checkbox"/> 血算			*****			2006/02/13
<input type="checkbox"/> W B C	8.8	/mm3	3.5- 9.0			2006/02/13
<input type="checkbox"/> R B C	5.17	/mm3	3.60-5.00			2006/02/13
<input type="checkbox"/> H b	14.7	g/dl	11- 15			2006/02/13
<input type="checkbox"/> H t	45.5	%	34- 46			2006/02/13
<input type="checkbox"/> M C V	88	μm3	83- 101			2006/02/13
<input type="checkbox"/> M C H	28.4	μm3	27- 34			2006/02/13
<input type="checkbox"/> M C H C	32.3	%	31.5-36.0			2006/02/13
<input type="checkbox"/> 血小板数	19.1	/mm3	13- 35			2006/02/13
<input type="checkbox"/> 白血球分類			*****			2006/02/13
<input type="checkbox"/> B a s	0.5	%	0- 2			2006/02/13
<input type="checkbox"/> E o s	10.2	%	1- 7			2006/02/13
<input type="checkbox"/> N E U T	50.3	%	53- 65			2006/02/13
<input type="checkbox"/> L y m	33.8	%	25- 45			2006/02/13
<input type="checkbox"/> M o n	5.2	%	2- 8			2006/02/13

### 2-13. 検査時系列表時順 逆順設定

時系列表示画面で日付の並びが左から「過去 現在」となっている仕様を「現在 過去」(逆順)の表示に変更できるように修正しました。

検査時系列表示画面「検査結果表示逆順設定」のチェックを付けてください。  
逆順設定にした場合は、トレンド、レーダー、報告書印刷も逆順の並びで表示されます。  
この設定は保存され、次の初期表示時に反映されます。

### 3. 不具合対応一覧(WBF - WOLF Bug Fixed : WOLF バグ管理番号)

有料版 WOLF ver2.0.8.4 で判明した不具合に関し、WOLF ver2.0.9 で実施した内容について列記します。

#### WBF-00068 紹介状 XML 印刷 ページ設定で用紙サイズを変更時の不具合

紹介状 XML 印刷 ページ設定で用紙サイズを変更した際に印刷内容が消えてしまう問題を修正しました。

#### WBF-00069 意見書 1.傷病に関する意見 (3)生活機能低下の直接の原因となっている傷病または特定疾患の経過及び投薬内容を含む治療内容

薬歴、サマリ参照からのコピー時に入力済み文字の前に挿入される問題を、カーソル位置に挿入するように修正しました。

#### WBF-00070 意見書 1.傷病に関する意見 (3)生活機能低下の直接の原因となっている傷病または特定疾患の経過及び投薬内容を含む治療内容

ATOK 使用時にかな入力モードになってしまう問題を修正しました。

#### WBF-00071 意見書 5.その他特記すべき事項の定型文選択

定型文選択時にエラーが発生する問題を修正しました。

## 4. WOLF ツールのご案内

WOLF に関連する無料および有料のツールについてご案内いたします。

### 4-1. AEXUS(帳票作成ツール)

AEXUS は様々な帳票を汎用的かつ簡単に作成するためのツールです。

WOLF がなくても単独で使用可能ですが、WOLF と同時に使用することで患者氏名などの基本情報や薬歴、病名などを引用でき、より効率的な帳票作成が可能となります。

有料ソフトですが、評価版プログラムの無料ダウンロードもあります。

AEXUS の詳細は下記 URL を参照ください。

<http://medical-domain.com/products/aexus.php>

### 4-2. WOLF-PUP(お薬手帳印刷ツール)

処方情報、薬剤情報を日レセから取得し、WOLF から専用プリンタでお薬手帳サイズのカラー写真付き薬剤情報を印刷するツールです。

WOLF に追加する有料版のアドインソフトです。

WOLF-PUPPET(下記説明を参照)を同梱しています。

WOLF 上では薬剤写真、薬剤説明文(剤形、効果・効能、注意事項)の編集はできません。

本ツールの利用には日レセとの連携が必須です。

別途、専用のプリンタ(EPSON 社製 TM-C100)が必要になります。

WindowsVista、Windows7 には対応しておりません。

#### ・WOLF-PUPPET について

薬事日報社の薬剤情報データ集「FINE PHOTO DI PLUS」の CD から日レセの薬剤情報マスタヘデータを取りこむツールです。

日レセがインストールされた Linux 上で実行するスクリプトファイルです。

薬事日報社「FINE PHOTO DI PLUS」は別途ご購入ください。

薬事日報社「FINE PHOTO DI」には対応していません。必ず「FINE PHOTO DI PLUS」をご利用ください。

日レセ単独で使用される場合は WOLF-PUPPET のみの購入も可能です。

WOLF から印刷する場合は WOLF-PUP をご利用ください。

WOLF-PUP の詳細は下記 URL を参照ください。

<http://www.medical-domain.com/products/utility.php>

### 4-3. WOLF ランチャ

WOLF から弊社製および他社製アプリケーションを呼び出したい場合、WOLF ランチャを利用することで複数のアプリケーションと WOLF を連携することができます。

対応アプリケーション(2010年4月時点)

- ・WinORCA Expert(簡易オーダリングソフト) 熊本ソフトウェア株式会社殿
- ・レセプトチェッカー(レセプト病名点検ソフト) SFK メディカル株式会社殿
- ・REGIUS Unitea (CR 及び各種検査画像の表示/保管装置) コニカミノルタヘルスケア株式会社殿
- ・LumiView(DICOM ビューワー) 株式会社リアルビジョン殿
- ・View Plus Pro(心電図データファイリングソフト) フクダエム・イー工業株式会社殿
- ・AEXUS(帳票作成ツール)メディカルドメイン別売製品

WOLF ランチャは下記 URL から無料でダウンロードできます。

<http://www.medical-domain.com/products/tools/>

#### 4-4. XML コンバータ

WOLF のデータベースから XML データ作成および、作成した XML データを WOLF へ登録するツールです。これまでの仕様では、WOLF インストール時のデータベース選択で Jet エンジンか MSDE を選択後にデータベース形式を変更することはできませんでした。

このツールを使用して、現在利用している WOLF から XML ファイル形式で全データを抽出し、さらにその XML データを異なる種類のデータベースでインストールした WOLF へ登録することで、データベース形式に関係なくデータ移行が可能となります。

SRL 社 DOCTOR ' S DESK Light をご利用の方も DOCTOR ' S DESK Light から XML データを作成し、WOLF へ登録が可能です。

XML コンバータは下記 URL から無料でダウンロードできます。

<http://www.medical-domain.com/products/tools/>

#### 4-5. 日医医見書データ移行支援ツール

日医 医見書ソフトから WOLF へのデータ移行支援ツールです。

**「日医 医見書 ver3.0.9 以降」からデータ移行をおこなった場合、**  
・特別訪問看護指示書の帳票  
・訪問看護指示書、主治医意見書、医師意見書の薬剤名 7、8 項目  
上記のデータが移行されません。  
それ以外のデータにつきましては、正常に移行できることを確認しております。

**「日医 医見書 ver3.1.2(平成 22 年診療報酬改定版)」から移行した場合、保険者情報の移行ができないことを確認しております。**  
保険者情報については WOLF で手動登録をお願いいたします。  
その他の作成した帳票データの移行には対応しております。

**ver3.0.9 以降の対応につきましては 2010 年 6 月現在、検討中となっております。**

移行支援ツールでは以下のデータが移行可能です。

- ・患者基本情報
- ・意見書請求先 保険者情報
- ・主治医意見書 文書内容
- ・医師意見書 文書内容
- ・訪問看護指示書 文書内容

移行可能なデータには条件がありますので、必ずマニュアルを参照して移行を実施してください。

平成 22 年 4 月時点の 利用可能な医見書のバージョンは以下の通りです。

- ・ システム version : 3.0.8
- ・ データ version : 3.0.8
- ・ スキーマ version : 3.0.8

日医医見書データ移行支援ツールは下記 URL から無料でダウンロードできます。

<http://www.medical-domain.com/products/tools/>